

事前評価書

年度	R5
整理番号	

事業名・路線名等		道路改良事業 一般国道 国道442号(石合 ^{いさい} 2工区)	事業主体	大分県
所在地		大分市大字今市 ^{いまいち} 字石合 ^{いさい}		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・視距改良や待避所設置を行うことで、通行車両の走行性、安全性の向上を図る ・大分市と豊後大野市を結ぶ幹線道路の未改良区間の改善を図る 		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=1,490m(施工箇所延長L=560m)、W=4.0(5.0)m</p> <p>【道路区分】 第3種第5級 【設計速度】 V=30km/h</p> <p>【現況幅員】 車道幅員W=3.6~6.4m</p> <p>【交通量】 交通量 627台/12h(R5実測)、うち大型車 12台/12h(R5実測)</p>		
	事業費	C=470百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和12年度)		
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 測量、調査、道路詳細設計</p> <p>2年目 用地測量、用地買収・立木補償</p> <p>3年目 道路工事</p> <p>4年目 道路工事</p> <p>5、6年目 道路工事</p> <p>7年目 道路工事 (完成)</p>		
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小区間があり、大型車の離合が困難(最小幅員W=3.6m) ・線形不良により通行車両の走行性、安全性が低い(最小曲線半径R=15m、視距23m) 		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・視距改良により、安全な道路空間が確保される。 ・離合所を設置することにより、安全性が向上される。 		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・1.5車線の道路整備のため、費用便益分析比の算出は困難であり、道路利用状況、交通の状況等から総合的に判断		
	工法の妥当性	・最小限の現道拡幅かつ経済的な計画を選定。		
	コスト縮減	・アスファルト、コンクリート、砕石は再生材を使用。		
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に与える影響が最も小さい、現道を最大限活用する計画としている。 ・発生土は現場内流用、残土については他の公共事業への流用に努める。 		
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・「国道442号(山中～温見)整備促進期成会」より、要望書提出(R5.8.25県知事へ要望) ・大分市より県議会土木建築委員会への要望書(R5) ・地元自治会も整備を望んでおり、地元の協力体制は整っている 		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法第12条に基づき実施 ・大分県長期道路整備計画「おおいたの道構想2015(2021改訂)」に基づき事業を実施 		
	事業の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な構造物であり、特に技術的に困難な工法はなし ・県立自然公園内(神角寺芹川県立自然公園 普通地域) 		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図

